



第7回アフリカ開発会議パートナー事業
第7回アフリカ開発会議横浜開催連携事業

「TICAD7を契機とした アフリカビジネスへの招待」

広大なサバンナに動物がいる風景、そのような我々の印象とアフリカの現状は大きく異なります。

アフリカでの携帯電話の登録数はすでに9億5570万台を超え過去5年間で約1.5倍に成長し、携帯電話を利用したモバイル・バンキング・サービスは今や低所得者が利用し得る金融サービスとして普及しています。コカ・コーラは2020年までの10年間にアフリカに約1900億円を投資し販売網・生産網の強化を進め、中国工商銀行はアフリカ20か国に1200ヶ所の支店を持つスタンダード銀行の株式を20%保有し、南アフリカでの再生可能エネルギー事業投資等、多くの案件を共同で進めています。さらに韓国サムスンも2018年から5年間で、アフリカでの売上を同社の世界売上の20%まで倍増する計画を打ち出しています。欧米、中国、韓国企業にとって既にアフリカは市場なのです。アフリカへの進出では大きく後れを取る日本でも「援助から投資へ」をキーワードにアフリカとの関係を見直しています。

2013年に日本で開催されたアフリカ開発会議(TICAD5)では、安倍総理は民間企業による進出をアフリカ成長促進の原動力と位置づけ、官・民含め3.2兆円の投資を行うことを表明し、2016年にケニアで開催された前回会議(TICAD6)では、必要な取り組みについて、より具体的な議論がなされました。日系企業の中で「最後のフロンティア」と位置付けられるアフリカですが、本格的な進出を後押しする状況が整いつつあります。このような状況を踏まえ、当セミナーでは、TICAD7の開催都市である横浜市にて、アフリカにて事業を行う企業、NPOの方々を講師として招き、参加者の以下のような疑問に答えます。

- ◎ アフリカにはどのような市場があるのか？
- ◎ アフリカの人々の実際の生活は？
- ◎ どのような企業がビジネスを展開しているのか？
- ◎ 進出はどのようなステップで検討すればよいのか？
- ◎ 進出にあたって、活用できる支援機関や補助金はあるか？

日時：2019年3月5日(火) 受付／13:30～
セミナー／14:00～17:00 レセプション／17:00～18:00
場所：YCC横浜創造都市センター 3階 主催：JCCPM株式会社

